

# Panasonic

インテグレートCD・MD・DSPレシーバー



## 取扱説明書

品番

### CQ-VX4200D



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特長

2DINにCDプレーヤー・MDプレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャー  
コントロール機能、高音質45W x 4chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応\*1

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.36ページ)をよくお読みください。

MDLP (ロングプレイ)\*2、MDグループ機能に対応

異なった録音モード (2倍長・4倍長・通常) の曲が混在しているディスクを再生できます。  
グループ機能にも対応しているため、聞きたい曲 (グループ) をスピーディに選べます。

MP3対応

ID3 Tag (曲データに付属して入力されている情報) を表示できます。(P.21ページ)

本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク) です。  
「MP3ファイル作成時の留意点」(P.21ページ)をよくお読みください。

タイトル表示機能\*3

各タイトルをスクロールさせて表示できます。

- ・MDディスク名・グループ名 (グループ登録されている場合)・トラック名
- ・MP3フォルダ名・ファイル名 (ID3 Tagの設定がONのときは、アルバム名・タイトル名 / アーティスト名)
- ・CDテキスト (ディスク名・トラック名)

立体感あるディスプレイを搭載

表示板を2層(上層7バンド・下層11バンド)にして、ディスプレイに奥行き感をつくり出しました。

多彩なサウンドコントロール機能を搭載 (P.26、30、32ページ)

音場創生 : 7モードのSPACE (スペース) 機能

音質調整 : HEQ (ヒューマンイコライザー)、GEQ (グラフィックイコライザー)

重低音再生 : SBC・SW (スーパー・ベース・コントロール・サブウーファー)、  
S.D.B.B (スーパー・ダイナミック・バス・ブースト)

システムアップ用端子を装備

外部音声入力端子 (AUX) 付き (P.26、45ページ)

テレビ (別売) のステレオ音声等を本機で聞くことができます。

外部アンプと接続できるプリアウト端子付き (P.45、46ページ)

## お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年7月現在)

CDチェンジャー : CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

MDチェンジャー : CX-MD6D

\*1 : CDチェンジャーは、機種によってCD-Rに対応していないものがあります。また、ディスクによっては正常に再生されない場合もあります。CD-RW、MP3には対応していません。

\*2 : MDチェンジャーは、MDLPに対応していません。

\*3 : CDチェンジャーは、タイトル (CDテキスト) を表示できません。

# もくじ

## ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認	8
別売りモコンについて	9
各部のなまえとはたらき	10

## 使う

電源を入れる・基本操作	12
電源を入れる/切る	12
音量を調整する	12
時計を調整する	12
音源 (ソース) を選ぶ	12
一時的に音量を下げる	12
表示を切り替える	12
ラジオを聞く	14
CDを聞く	16
MP3を聞く	18
MDを聞く	22
チェンジャーでCD/MDを聞く	24

## 使いこなす

音場設定・便利な機能	26
音場を設定する (スペース)	26
スเปアナ表示を切り替える (スぺアナパターン)	26
交通情報などをボタン一つで受信する (ダイレクトメモリ)	26
スぺアナ表示をアレンジする (スぺアナリバース)	26
外部機器の音声を聞く (AUX)	26
いろいろな設定と調整	30
音質調整	30
ユーザー設定	34

## 必要なときに

ディスクの取り扱いについて/お手入れのしかた	36
故障かな!?	38
配線・取り付けの前に	42
取り付けかた	43
配線のしかた	44
仕様	47
アフターサービスについて	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なときに

# 安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

運転者は走行中に操作をしない  
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。  
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V $\ominus$ アース車で使用する

 本機はDC12V $\ominus$ アース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、  
バッテリーの $\ominus$ 端子を必ずはずす

 バッテリーの $\ominus$ 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

## 警告

故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障(画像が映らない・音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。  
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 事故の原因になります。  
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

 **禁止** エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、  
拡張子「.MP3」を絶対に付けない

 **禁止** MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

## ⚠ 注意

### 配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

### 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

### 水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

### 機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

### 可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

### コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

### 本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

### 適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

### 特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

### シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

## ⚠ 注意

### 電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。指定の電池以外は使用しない。⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。使いきった電池は、すぐに交換する。リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ビニール袋に入れる、テープなどを巻く）著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

# 使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

## 本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーポートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

## 免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

# 付属品・添付品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

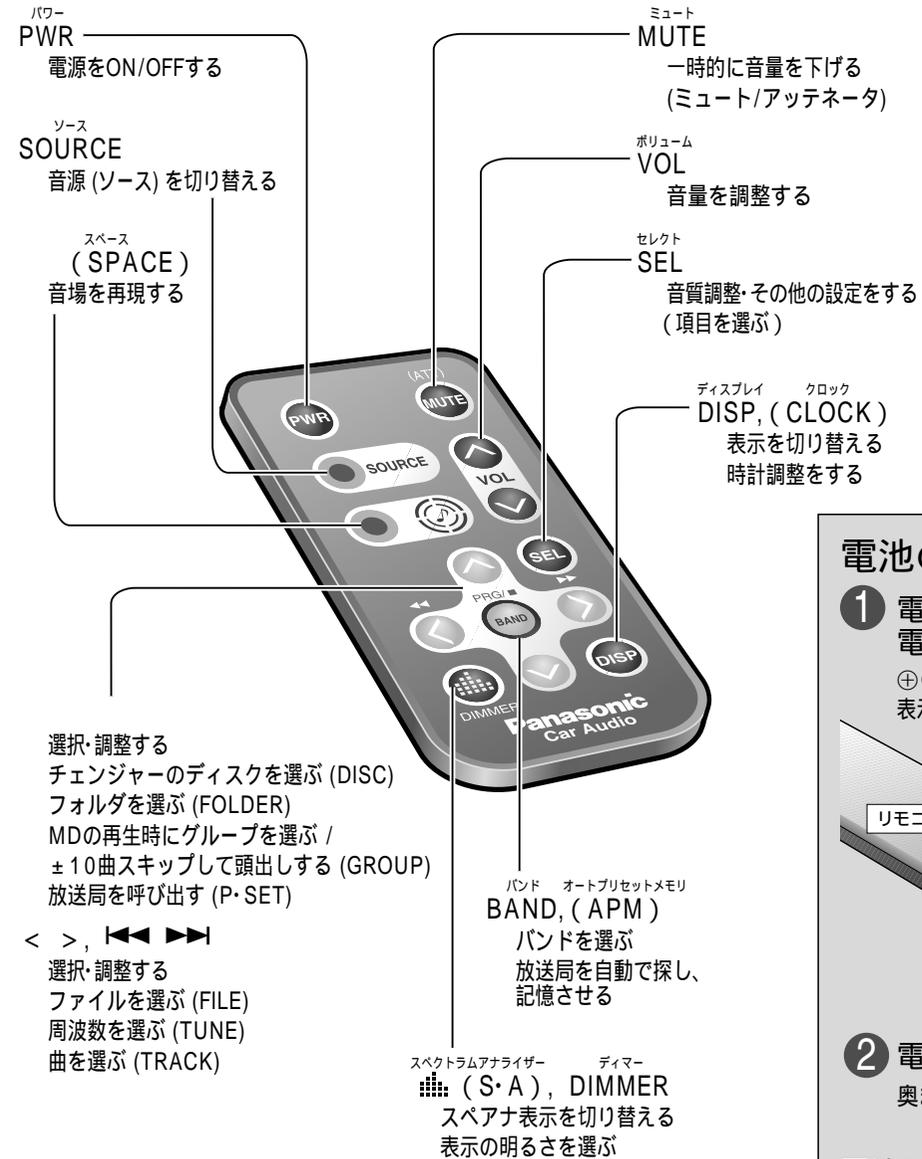
配線・取り付け用部品（☞42ページ）

添付品

取扱説明書（本書） 保証書 お客様ご相談窓口一覧表

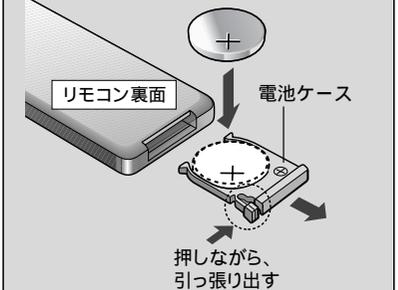
# 別売リモコンについて

本機をリモコンで操作したい場合には、CA-RC55D（別売）をお買い求めください。



## 電池の入れかた

- 1 電池ケースを出して、電池をのせる  
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



- 2 電池ケースを入れる  
奥まで押し込んでください。

## 電池について

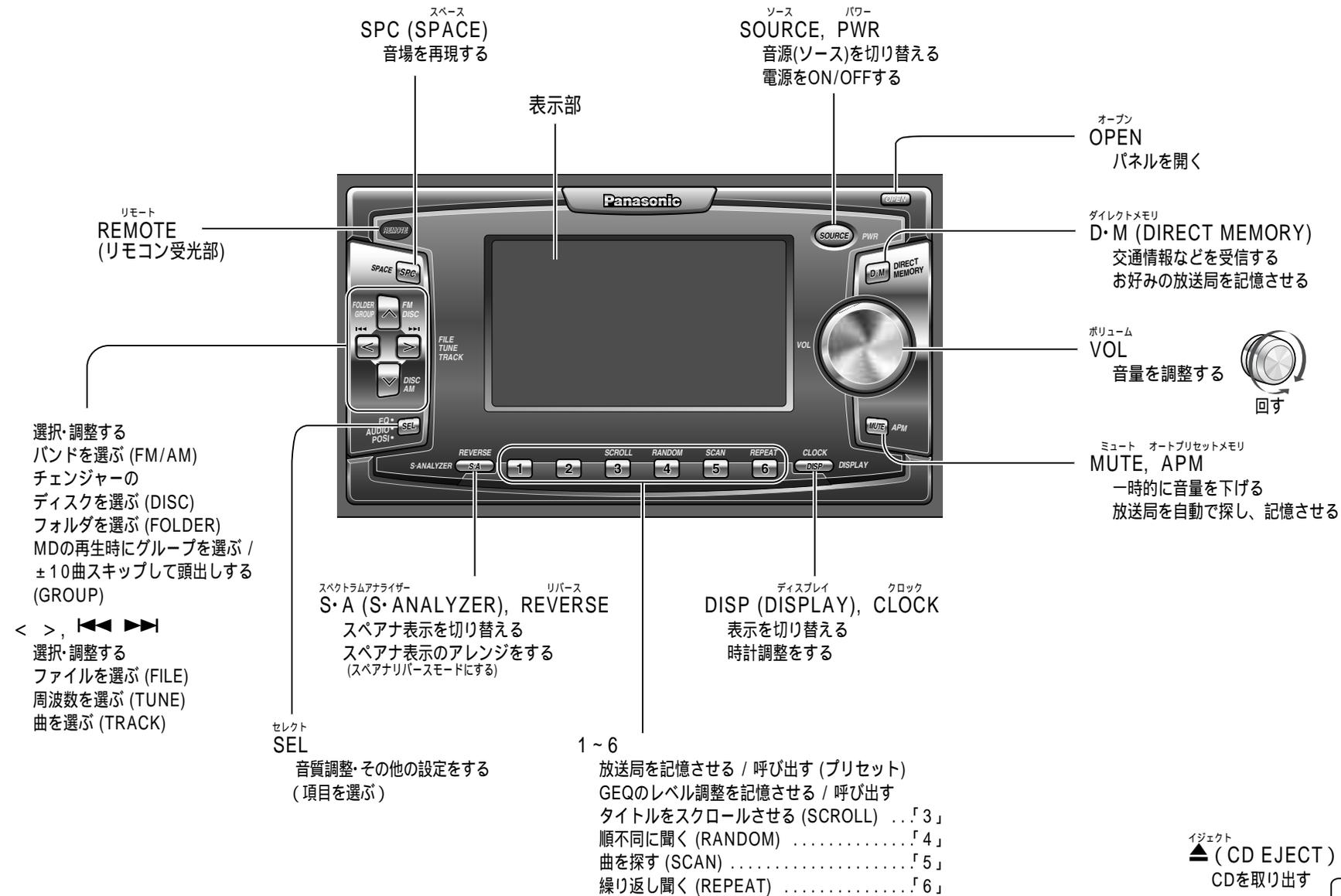
使用電池  
パナソニック リチウム電池 (CR2025)

電池寿命  
通常の使用状態 (常温時) で約6ヶ月

取り扱いの注意書き (☞7ページ) をよくお読みください。

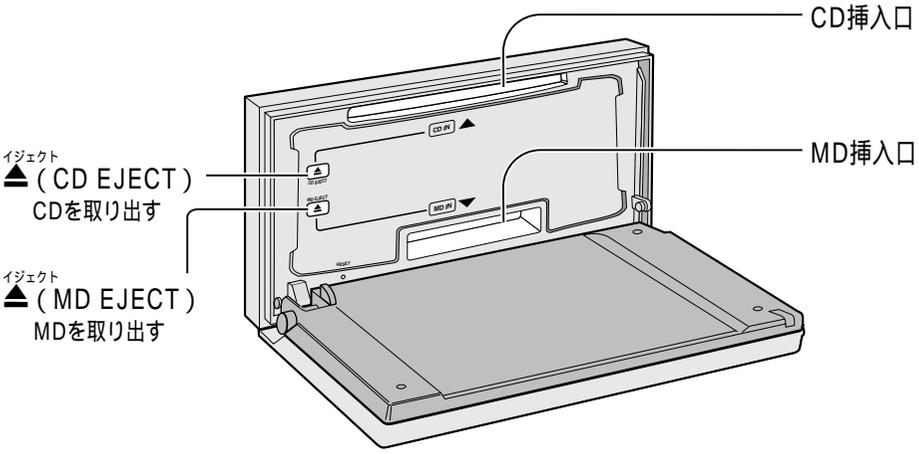
本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

# 各部のなまえとはたらき



後面の端子については、「配線のしかた」をご覧ください (P.45ページ)

## ディスク挿入口



# 電源を入れる・基本操作

**準備** 車のエンジンをかける  
(「ACC ON」でも可)



## 電源を入れる/切る



ON (入): 押す  
OFF (切): 1秒以上押す

リモコンは  
PWR を押すごとにON/OFF

はじめて電源を入れたときは  
デモンストレーションが表示されます。解除してから、  
ご使用ください。

CLOCK DISP DISPLAY を押して、表示を切り替える

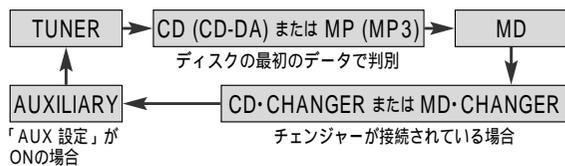
再度、デモンストレーションを表示させるには...  
電源を入れるときに、ボタンを2秒以上押してください。

### お知らせ

電源が切れているときにディスク (マガジン) を入れる  
と電源が入り、再生が始まります。

## 音源 (ソース) を選ぶ

SOURCE PWR を押して、切り替える



### お知らせ

外部音声入力 (AUX) を使用しない場合は、スキップ  
させることができます。(※34ページ)

## 音量を調整する



を回す **VOLUME 20**  
調整範囲: 0 ~ 40

モードごと (ラジオはAM・FMごと) に記憶されるので、  
モードを切り替えると音量も変わります。  
(インテリジェントボリューム)

## 一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)

MUTE APM を押す (再度押すと、解除)

音量の下がりかたは、設定によって異なります。  
初期設定: MUTE (ミュート/アッテネータ設定※34ページ)

ミュート : 音量が0になる (消音)  
アッテネータ : 音量が10ステップ下がる (約1/10)

例) ミュート  
**MUTE ON**

ミュートおよびアッテネータがONのときは、「MUTE」  
インジケータが点滅します。

## 時計を調整するには

1 **CLOCK DISP DISPLAY** を2秒以上押す  
時間表示が点滅します。  
(初めて調整するときは「0:00」が点滅します)

例) **15:00**

2 **← →** を押して時/分を選び、  
「分」を調整する場合  
分表示が点滅します。  
「時」を調整する場合  
時間表示が点滅します。

調整する (24時間表示)

進む  
戻る

例) **15:01**

3 **CLOCK DISP DISPLAY** を押して時刻を決定する  
秒が0になり、時計が動き始めます。

### お知らせ

電源が切れているときは、調整できません。

## 表示を切り替える

CLOCK DISP DISPLAY を押す

### お知らせ

モードごと (ラジオはAM・FMごと) に記憶されます。  
表示は、ソースごとに異なります。

時計表示について

- 未調整のときは「ADJUST」と表示されます。
- 表示のパターンを選べます。(※34ページ)

MP3のフォルダ名・ファイル名表示については、21ページをご覧ください。



電源が切れているときも、  
時計を表示させることができます。



## タイトル表示について

英数字 / カタカナなどが、12文字まで (スクロール時は最大半角48文字まで) 表示できます。漢字 / 一部の記号や文字 (言語) などは、表示できません。

CDテキスト、およびMP3ファイルのひらがなは、カタカナに変換して表示されます。MDタイトルのひらがなは、表示できません。

CDチェンジャーは、タイトル (CDテキスト) を表示できません。

「NO TITLE」と表示されたときは... タイトル情報が記録されていません。

- \*1 絶対曲番号  
ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。
- \*2 相対曲番号  
再生中のフォルダ内に対する曲番号が表示されます。ただし、MDのグループ内に対する曲番号は表示されません。
- \*3 アルバム名・タイトル/アーティスト名  
ID3 Tagの設定がONのときに表示されます。ID3 Tagを表示させる場合には、フォルダ名・ファイル名を表示できません。(※34ページ)

- \*4 グループ名  
グループ名が入力されている場合のみ表示されます。MDチェンジャーは、グループ名を表示できません。「OUT OF GROUP」と表示されたときは... 再生中の曲がどのグループにも属していません。グループ名が記録されていないときは... 先頭曲番号 - 最終曲番号が表示されます。例) 13 - 28

# ラジオを聞く



**1** **SOURCE** PWR を押して、  
ラジオ (TUNER)  
モードにする

**2** **FOLDER GROUP** FM DISC を押して、  
バンドを選ぶ

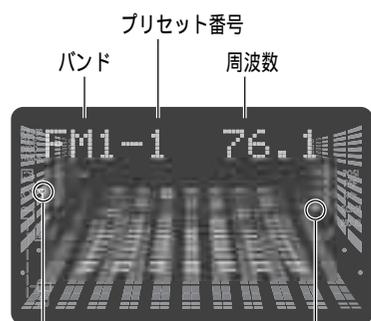
FM 1 ↔ FM 2  
AM 1 ↔ AM 2

リモコンは  
**BAND** を押して切り替えます。

FM 1 FM 2 AM 1 AM 2

**3** **PRESET** を押して、  
放送局を選ぶ

自動選局 (シーク) したいときは  
0.5 秒以上押し続ける  
はなした時点から選局を始め、受信する  
と止まります。



TUNER (ラジオ)  
モード中に点灯

FMステレオ放送を受信したとき  
(AMステレオには対応していません)

## 放送局を記憶させるには

各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

一つずつ  
記憶させる  
(プリセットメモリ)

本体のみ

バンドと周波数を選び (左ページ)  
**1** ~ **6** を2秒以上押す  
(プリセットボタン)

周波数が1回点減し、  
受信している放送局が記憶されます。



1回点減する

受信状態の  
よい順に  
記憶させる  
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び (左ページ)

**MUTE** APM を2秒以上押す

リモコンは

**BAND** を2秒以上押すと、  
記憶されます。

受信状態のよい放送局が、  
プリセット番号1から順に記憶されます。

終了すると...

記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。  
本体の **1** ~ **6** を押して、放送局を選んでください。  
(プリセットボタン)



点減する

リモコンは

↑ を押すと、  
プリセット番号を  
選ぶことができます。  
↓

**お知らせ** 記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

放送局を  
呼び出す  
(プリセット呼び出し)

バンドを選び (左ページ)  
本体の **1** ~ **6** を押す  
(プリセットボタン)

リモコンは

↑ を押すと、  
プリセット番号を  
選ぶことができます。  
↓

# CDを聞く

CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているCD-R/RWの場合は、再生時に曲データを判別して自動的にモードが切り替わります。(ディスクの最初のデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。)

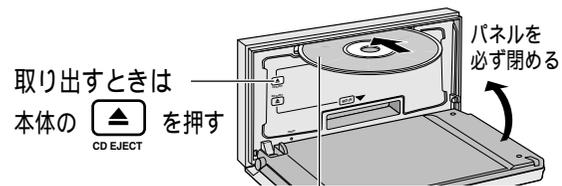


## CDを入れる / 取り出すには

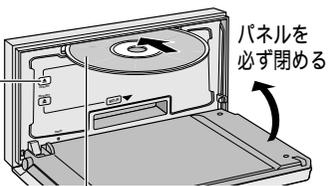
本体の **OPEN** を押して、パネルを開く

CDを入れると、データを判別して再生が始まります。全てのデータをチェックするため、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

CDが入っていないことを確かめてから、入れてください。  
CDの挿入口に、MDを入れないでください。



取り出すときは  
本体の **CD EJECT** を押す



タイトル面を上  
シングルアダプターを使用しないでください。  
8cmCDは、アダプターなしで再生できます。

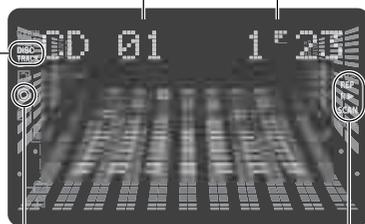
## 1 **SOURCE PWR** を押して、CDモードにする

再生が始まります。  
「NO DISC」と表示されたときは...  
ディスクを入れてください。

## 2 **DISC** / **TRACK** を押して、曲を選ぶ

早送り/早戻しするには  
0.5秒以上押し続ける  
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

タイトルを表示しているときに点灯  
DISC : ディスク名  
TRACK : トラック名  
曲番号  
曲の再生経過時間



CDが入っているとき・  
CDモード中に点灯

各設定がONのときに点灯

### お知らせ

CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

### お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P.36ページ)をよくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない  
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD(特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW)は使用しない

## いろいろな聞きかた

順不同に聞く  
(ランダム)

本体のみ

**RANDOM**  
**4** を押す  
(再度押すと、解除)

**R▶**

曲を探す  
(スキャン)

本体のみ

**SCAN**  
**5** を押す  
(再度押すと、解除)

**SCAN**

一周すると...  
もとの曲の先頭に戻ります。

繰り返し聞く  
(リピート)

本体のみ

**REPEAT**  
**6** を押す  
(再度押すと、解除)

**REP**

タイトル情報を表示させるには

**CLOCK** / **DISP** / **DISPLAY** を押して、  
表示を切り替える (P.12ページ)

タイトルをスクロールさせるには

本体の **SCROLL** / **3** を押す (再度押すと、解除)

### お知らせ

スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の12文字までを表示して停止します。ディスクのキズや汚れが原因でタイトル情報が正しく表示されないことがあります。ディスクを取り出し、クリーニングしてください。(P.36ページ)

タイトル表示については、13ページをご覧ください。



# MP3を聞く

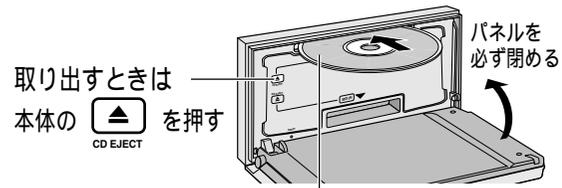
CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているCD-R/RWの場合は、再生時に曲データを判別して自動的にモードが切り替わります。(ディスクの最初のデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。)



## CDを入れる / 取り出すには

本体の **OPEN** を押して、パネルを開く  
 CDを入れると、データを判別して再生が始まります。  
 全てのデータをチェックするため、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

CDが入っていないことを確かめてから、入れてください。  
 CDの挿入口に、MDを入れないでください。



タイトル面を上  
 シングルアダプターを使用しないでください。  
 8cmCDは、アダプターなしで再生できます。

## 1 SOURCE PWR を押して、MP3モードにする

再生が始まります。  
 「NO DISC」と表示されたときは...  
 ディスクを入れてください。

## 2 FOLDER GROUP FM DISC / DISC AM を押して、フォルダを選び

## 3 再生 / 早送り / 早戻し を押して、ファイルを選ぶ

早送り / 早戻しするには  
 0.5秒以上押し続ける

押ししている間、早送り / 早戻しされます。  
 (再生経過時間の表示が実際とずれる場合がありますが、他のファイルを再生すると、正常に戻ります。)

### お願い

「ディスクの取り扱いについて」(※36ページ)をよくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない  
 シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW) は使用しない

「MP3ファイル作成時の留意点」  
 (※21ページ)をよくお読みください。

### お知らせ

フォルダやファイルを連続して順送りすると、途中の(スキップした)曲の先頭の音が出る場合があります。

再生中に車のACC電源をOFFにすると、再生経過時間の表示が実際とずれる場合があります。また、可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、曲の先頭に戻ることがあります。

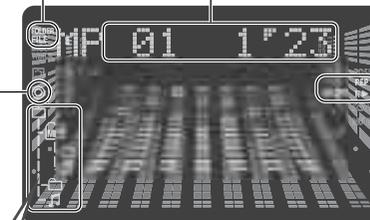
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

フォルダ名・ファイル名を表示しているときに点灯  
 FOLDER : フォルダ名 または アルバム名<sup>\*3</sup>  
 FILE : ファイル名 または タイトル/アーティスト名<sup>\*3</sup>

絶対曲番号<sup>\*1</sup>・再生経過時間表示のとき  
 001 1'23  
 フォルダ番号・相対曲番号<sup>\*2</sup>表示のとき  
 001-001

CDが入っているとき・MP3モード中に点灯

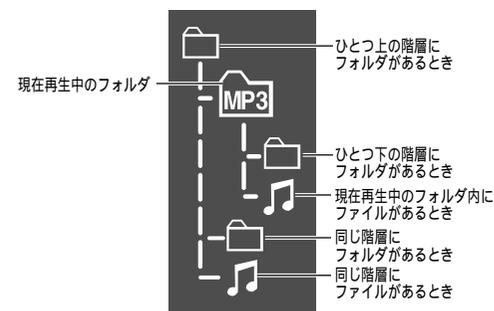
各設定がONのときに点灯



- \*1 絶対曲番号 : ディスク内全てに対する曲番号
- \*2 相対曲番号 : 再生中のフォルダ内に対する曲番号
- \*3 アルバム名・タイトル/アーティスト名 : ID3 Tagの設定がONのとき (※34ページ)

### フォルダの階層

再生中のフォルダの階層が表示されます。



### お知らせ

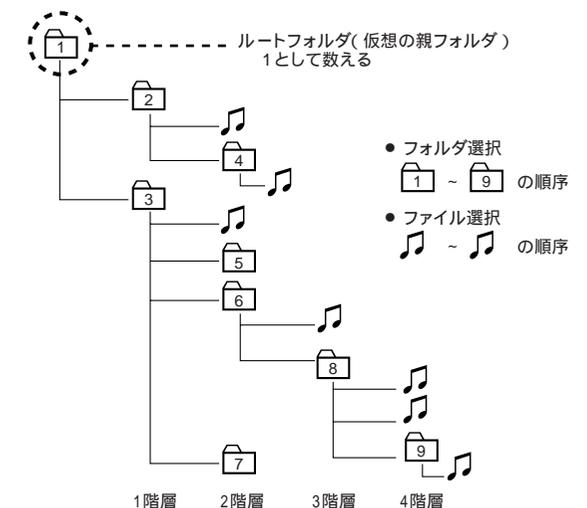
ディスク内の階層全体やフォルダ内のファイルを  
 一覧表示させることはできません。

## 階層と再生順序のイメージ (例)

本機では、フォルダの中にファイルがなくても一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。

1階層目の(ルートフォルダの中にある)ファイルを再生したい場合は、「ROOT」(仮定の親フォルダ)を選んでください。

ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、お望みの再生順序にならない場合があります。また、同一のCDでも使用する機器(プレーヤー)によって再生順序が異なる場合があります。



## いろいろな聞きかた

<b>順不同に聞く</b> (ランダム) 本体のみ	全ての曲	<b>RANDOM 4</b> を押す (再度押すと、解除)	R▶
	再生中のフォルダ	<b>RANDOM 4</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	FOLDER R▶
<b>繰り返し聞く</b> (リピート) 本体のみ	再生中の曲	<b>REPEAT 6</b> を押す (再度押すと、解除)	REP
	再生中のフォルダ	<b>REPEAT 6</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	FOLDER REP

### フォルダ名・ファイル名を表示させるには

\*フォルダ名・ファイル名：ID3 Tagの設定がONのときには、アルバム名・タイトル名/アーティスト名(※34ページ)

**CLOCK DISP DISPLAY** を押して、表示を切り替える (※12ページ)

#### お知らせ

1階層目の(ルートフォルダの中にある)ファイルを再生している場合は、フォルダ名表示のときに「ROOT」(仮想の親フォルダ)と表示されます。  
スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の12文字までを表示して停止します。  
ディスクのキズや汚れが原因でタイトル情報が正しく表示されないことがあります。ディスクを取り出し、クリーニングしてください。(※36ページ)  
フォルダ名/ファイル名やID3 Tagの表示については、右ページをご覧ください。

### タイトルをスクロールさせるには

**SCROLL 3** を押す (再度押すと、解除)

## MP3ファイル作成時の留意点

### MP3(エムピースリー)とは

MPEG-1 Audio Layer 3、MPEG-2 Audio Layer 3 LSF (Low Sampling Frequency) の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。約10分の1に圧縮できるので、音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込めます。(ビットレート128 kbps、サンプリング周波数44.1 kHzで、容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値)

### 音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは

**ビットレートは“128 kbps以上”の“固定”に設定してください。推奨**

可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。

再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。

詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

### ディスクにMP3ファイルを書き込むときは

**MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。**

多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

**本機が対応しているファイルシステムで書き込んでください。(※下記参照)**

APPLE HFS フォーマットには対応していません。

規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名・ファイル名が正しく表示されない場合があります。

**MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。**

MP3以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けた場合は、ファイルを再生できません。(拡張子は表示されません。)

“Disc at Once (ディスクアットワンス)”で書き込むことをお奨めします。(マルチセッションにも対応しています。)  
データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。

パケットライトソフトには対応していません。

プレイリスト機能には対応していません。ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

### ファイルシステム対応表

ファイルシステム	本機の表示について
ISO 9660 レベル1	フォルダ名・ファイル名の入力には、英 / 数 / カナ を使用してください。推奨 フォルダ名・ファイル名は、最大31文字まで(スクロール時) ファイルシステムによって文字数の制限などがあります。詳しくはライティングソフトの説明書をよくお読みください。 ひらがなは、カタカナに変換して表示されます。 漢字 / 一部の記号や文字(言語)などは表示できません。ブランクスペースや文字化けした表示になります。 *「Joliet」は、半角の英 / 数 で入力してください。最大15文字まで表示できます。(スクロール時) ひらがな / 漢字 / 一部の記号や文字(言語)などは表示できません。ブランクスペースや文字化けした表示になります。
ISO 9660 レベル2	
Joliet *	
Romeo	
ISO 9660 アップル拡張	

### ファイル/フォルダ数の制限

フォルダの最大階層数：8階層  
 最大ファイル数：999 (ルートフォルダを含まず)  
 最大フォルダ数：254

#### お知らせ

再生できないファイルは「ERROR4」と表示されます。

MP3エンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されておられません。

### ID3 Tagについて

本機では、アルバム名・タイトル名・アーティスト名に対応しています。  
 Ver.2はVer.1に変換されるため、最大で半角30文字 / 全角15文字までの表示となります。(スクロール時)

# MDを聞く



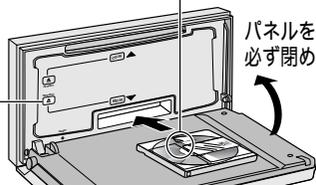
MDを入れる / 取り出すには  
本体の **OPEN** を押して、パネルを開く  
MDを入れると、再生が始まります。

MDが入っていないことを確かめてから、入れてください。  
CDの挿入口に、MDを入れないでください。

矢印の向きで(タイトル面を上)

パネルを必ず閉める

取り出すときは  
本体の **MD EJECT** を押す



**1** **SOURCE** **PWR** を押して、**MDモードにする**

再生が始まります。  
「NO DISC」と表示されたときは...  
ディスクを入れてください。

**2** **◀ ▶** を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには  
0.5秒以上押し続ける  
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

### お知らせ

録音モードが混在しているディスクも再生できます。  
MDLPモードは標準モードと比較して、音質に若干の変化があります。あらかじめご了承ください。  
100以降のグループは、グループとして認識されません。  
(グループ選択やグループ名表示ができません。)

タイトルを表示しているときに点灯  
FOLDER : グループ名  
DISC : ディスク名  
TRACK : トラック名



MDが入っているとき・MDモード中に点灯

各曲の録音モード  
LP2 : 2倍長録音  
LP4 : 4倍長録音  
消灯時 : 標準録音 (ステレオ/モノラル)

\* 絶対曲番号  
ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。  
相対曲番号(再生中のグループ内に対する曲番号)は表示されません。

グループ番号は表示されません。  
各設定がONのときに点灯

## 聞きたい曲(グループ)をスピーディに選ぶには

MDLPで多くの曲が録音されているディスクでも、聞きたい曲が簡単に探せます。アルバム/アーティスト/ジャンルごとなどにグループ録音されている場合には、グループを選んで再生できます。

**FOLDER GROUP** **FM DISC** を押して、  
**DISC AM** **DISC** **曲(グループ)を選ぶ**

押し続けている間、連続して切り替わります。  
グループ録音されている場合  
グループ単位でスキップして頭出しする  
グループ録音されていない場合  
10曲スキップして頭出しする  
ディスク内の総曲数(最終曲・先頭曲)を超えたときは、1曲目から再生されます。  
再生中の曲がどのグループにも属していない場合には、先頭グループの1曲目(先頭曲)から再生が始まります。

### グループ管理情報について

グループ機能を搭載していない録音機でも、ディスク名の記録領域へ一定の法則に従ってグループ管理情報を入力することにより、グループ登録できます。(最大99グループまで) グループ機能未対応の機器で再生した場合には、文字列がそのままディスク名として表示されます。グループ管理情報が正しいフォーマットで記述できていない場合には、思いどおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えないことがあります。

グループ管理情報(文字列)の例  
0; My\_BEST//1-5; Pops//6-9; Rock//...

① .....「0;」で、ディスク名を認識  
②③ .....「数字-数字;」で、グループの先頭曲-最終曲を認識  
グループごとの区別、および最後のグループの末尾には、必ず「//」を付ける。

### お知らせ

本機ではグループ登録できません。  
グループの編集(曲の追加・削除・移動など)を行った場合には、グループ機能が正しく動作しなかったり、使えないことがあります。グループ登録しなおしてください。

## いろいろな聞きかた

順不同に聞く  
(ランダム)

全ての曲  
再生中のグループ

**RANDOM**  
**4** を押す  
(再度押すと、解除)



**RANDOM**  
**4** を2秒以上押す  
(再度2秒以上押すと、解除)



曲を探す  
(スキャン)

全ての曲を、  
約10秒ずつ再生する  
本体のみ

**SCAN**  
**5** を押す  
(再度押すと、解除)



一周すると...  
もとの曲の先頭にに戻ります。

繰り返し聞く  
(リピート)

再生中の曲  
再生中のグループ

**REPEAT**  
**6** を押す  
(再度押すと、解除)



**REPEAT**  
**6** を2秒以上押す  
(再度2秒以上押すと、解除)



**お知らせ** グループランダム / グループリピートは、グループ登録されているMDに限り有効な機能です。

## タイトル情報を表示させるには

**CLOCK** **DISP** **DISPLAY** を押して、  
表示を切り替える (12ページ)

## タイトルをスクロールさせるには

本体の **SCROLL** **3** を押す (再度押すと、解除)

### お知らせ

スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の12文字までを表示して停止します。  
タイトル表示については、13ページをご覧ください。

# チェンジャーでCD/MDを聞く



**準備** CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続してください。(P.46ページ)

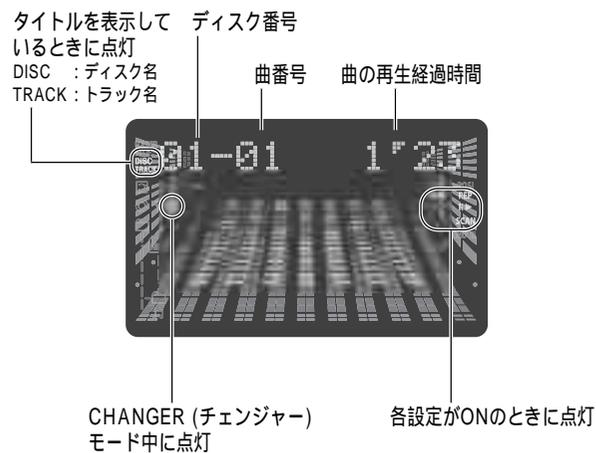
**1** **SOURCE PWR** を押して、**チェンジャー (CHANGER) モードにする**

再生が始まります。  
「NO MAGAZINE」と表示されたときは...  
マガジンを入れてください。  
「NO DISC」と表示されたときは...  
ディスクを入れてください。

**2** **FOLDER GROUP** / **FM DISC** / **DISC AM** を押して、**ディスクを選び**

**3** **◀▶** を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには  
0.5秒以上押し続ける  
押し続けている間、早送り/早戻しされます。



**お知らせ**

CDチェンジャー : CD-Rは機種により使用できないものがあります。CD-RWは使用できません。MP3には、対応していません。  
MDチェンジャー : MDLPには対応していません。(無音で再生されず)  
ディスクの取り扱いについては、36~37ページをお読みください。

## いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム) 本体のみ	全ての曲	<b>RANDOM 4</b> を押す (再度押すと、解除)	<b>R▶</b>
	再生中のディスク	<b>RANDOM 4</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	<b>DISC R▶</b>
曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ再生する 本体のみ	全ての曲	<b>SCAN 5</b> を押す (再度押すと、解除)	<b>SCAN</b> 一周すると... もとの曲の先頭に戻ります。
	ディスクの1曲目	<b>SCAN 5</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	<b>DISC SCAN</b> 一周すると... もとのディスクの先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート) 本体のみ	再生中の曲	<b>REPEAT 6</b> を押す (再度押すと、解除)	<b>REP</b>
	再生中のディスク	<b>REPEAT 6</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	<b>DISC REP</b>

MDのタイトル情報を表示させるには  
**CLOCK DISP DISPLAY** を押して、  
表示を切り替える (P.12ページ)

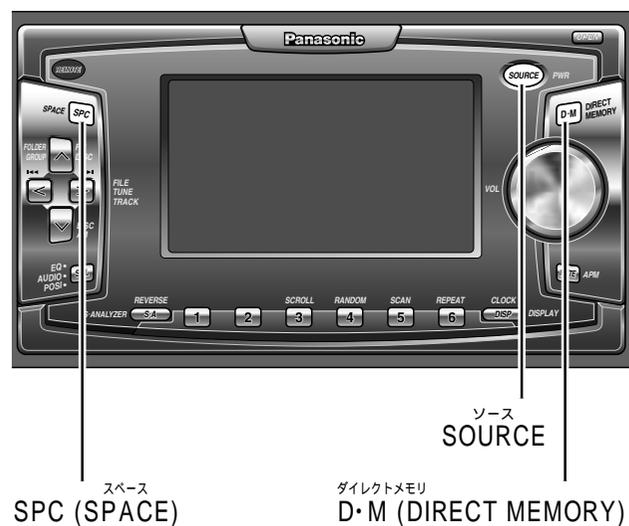
タイトルをスクロールさせるには  
本体の **SCROLL 3** を押す (再度押すと、解除)

**お知らせ**

スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、  
末尾まで一周スクロールしたあと、最初の12文字までを表示して停止します。  
タイトル表示については、13ページをご覧ください。

CDチェンジャーは、  
タイトル (CDテキスト) を  
表示できません。

# 音場設定・便利な機能



## 音場を設定する

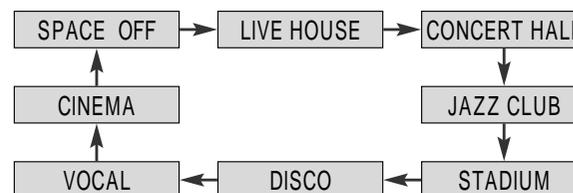
(スペース)

実際に演奏会場にいるような音場 (スペース) を車室内に再現できます。

初期設定：SPACE OFF  
設定範囲：7種類 + 「OFF」

モードごと (ラジオはAM・FMごと) に設定できます。

SPACE を押して、切り替える



例)

**LIVE HOUSE**

OFF以外に設定すると、「SPACE」インジケータが点灯します。

## 交通情報などをボタン一つで受信する

(ダイレクトメモリ)

電源が切れているときでも、どのモードからでも、交通情報を受信できます。また、好きな放送局を記憶させることもできます。

初期設定：AM 1620 kHz

本体のみ

本体の を押す  
(再度押すと、解除)

記憶されている放送局を受信します。

**D・M 1620**

お知らせ

D・Mモード中はSPACE (音場設定) が無効になります。音質調整などができません。

放送局を記憶させるには...

TUNER モードで周波数を選び (P.14ページ)

本体の を2秒以上押す

**D・M MEMORY**

例)

**FM1 76.1**

上書きして、放送局が記憶されます。

## 外部機器の音声を聞く

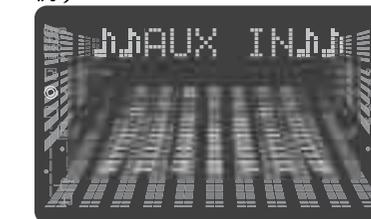
(AUX)

**準備** 外部音声入力端子 (AUX-IN) に、テレビの音声などを接続してください。(P.45ページ)

を押して、AUXモードにする

操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

例)





< >  
 スペクトラムアナライザ  
**S・A (S・ANALYZER)**  
 リバース  
**REVERSE**

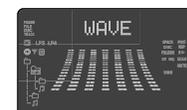
## スペアナ表示を切り替える (スペアナパターン)

上下各層の表示パターンを切り替えて、  
 お好みの表示にできます。

初期設定：デモンストレーション  
 ( 12 ページ)

- 1 **S・ANALYZER** **REVERSE** **S・A** を押して、スペアナセレクトモードにする **SPEANA SEL**
- 2 層(レイヤー)を選ぶ 上の層を選ぶときは を押す **UPPER LAYERS**  
 下の層を選ぶときは を押す **LOWER LAYERS**
- 3 を押して、表示パターンを切り替える

表示例



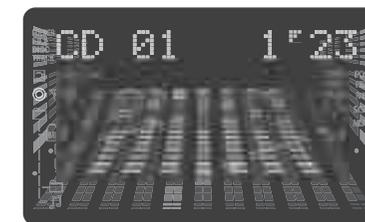
上の層のパターン

+



下の層のパターン

=



組み合わせられた表示

上下の層 (UPPER / LOWER) を両方ともOFF (消灯) に  
 すると、ディスプレイ全体の表示が消灯されます。

操作をすると上の層 (UPPER LAYERS) だけが点灯し、  
 約5秒後に再び消灯します。

## 下層のスペアナ表示を アレンジする

(スペアナリバース)

選択した下層のスペアナパターンに  
 対して、さらに表示の向きや、ネガ  
 とポジを反転させることができます。  
 (「L-LAYERS OFF」を除く12種類)

初期設定：NORMAL・POSI

本体のみ

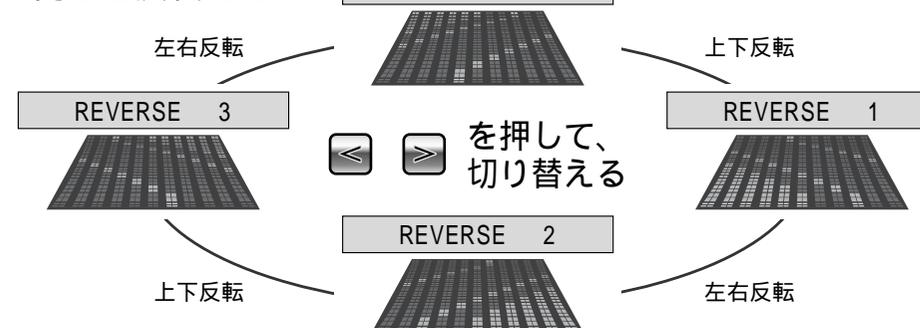
- 1 本体の **S・ANALYZER** **REVERSE** **S・A** を2秒以上押して、

**SPEANA REV**

スペアナリバースモードになります。

- 2 下の層の表示パターンをアレンジする

向きを反転させる



ネガとポジを反転させる



を押して、  
 切り替える



ポジ表示



ネガ表示

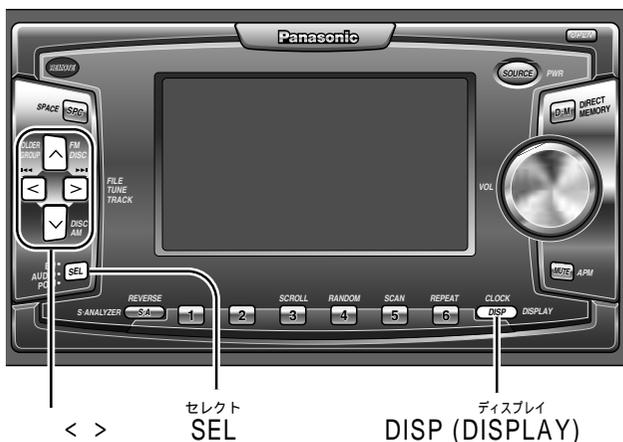
お知らせ

約10秒間何も操作をしないと...  
 通常モードに戻ります。

ドットスペアナ(文字部の表示)は、  
 表示パターンの切り替えやアレンジ  
 ができません。

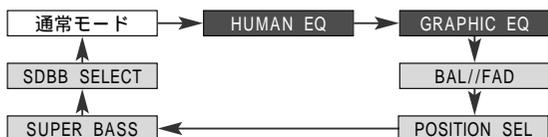
# いろいろな設定と調整

## 音質調整



### 1 項目を選び、

**SEL** を押して項目を選ぶ。



### 2 調整する

**<** **>** で選択する。

ヒューマンイコライザー  
グラフィックイコライザー は、 で調整する。

調整を続けるときは...

再度 **SEL** を押して、項目を選んでください。

#### お知らせ

各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には...

**CLOCK**  
**DISP** **DISPLAY** を押す

### 音楽や気分に合った音質に調整する

(ヒューマンイコライザー)

複雑な調整をしなくても、パターンを選ぶだけで音質を調整できます。

初期設定：FLAT (すべて0)  
調整範囲：各0~3 (49パターン)

**HUMAN EQ**

を選び

横軸方向：SHARP / SOFT  
(高音域の明快さ)

- >** SHARP : 歯切れよくなる
- <** SOFT : 柔らかくなる

例) HEAVY

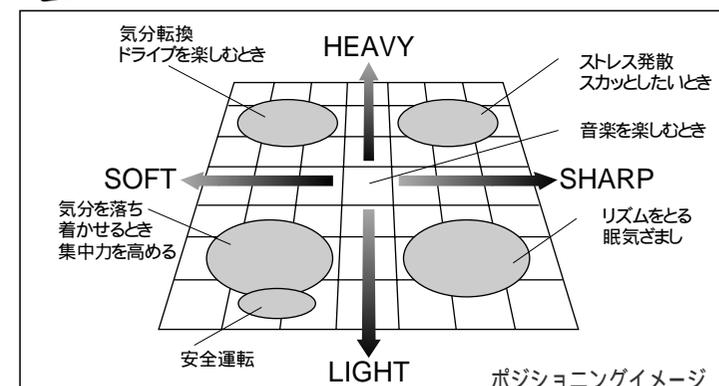


選択されているパターンのポジションが上層で点滅し、イコライザーカーブが下層に表示されます。

調整すると「EQ」インジケータが点灯します。

縦軸方向：HEAVY / LIGHT  
(低音域の豊かさ)

- ↑** HEAVY : 豊かになる
- ↓** LIGHT : 軽快になる



### 周波数帯域ごとにレベルを調整する

(グラフィックイコライザー)

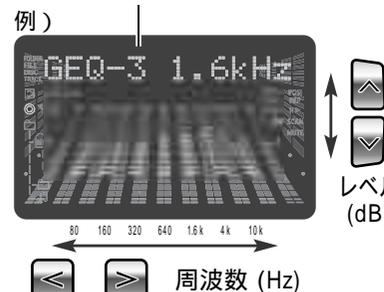
各周波数帯域(7バンド)のレベルを調整し、6種類まで記憶させることができます。

初期設定：FLAT (すべて0 dB)  
調整範囲：-12 ~ +12 (dB) / 2 dBごと

**GRAPHIC EQ**

を選び

GEQプリセット番号



選択されている周波数のバンドが上層で点滅し、イコライザーカーブが下層に表示されます。

調整すると「EQ」インジケータが点灯します。

記憶させるには (GEQプリセットメモリ)

周波数バンドごとにレベルを調整し、  
本体の **1** ~ **6** を2秒以上押す  
(プリセットボタン)

記憶されると、プリセット番号が一回点滅します。

呼び出すには

GRAPHIC-EQ表示のときに  
本体の **1** ~ **6** を押す  
(プリセットボタン)

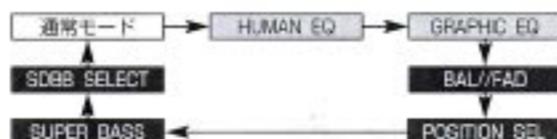
#### お知らせ

記憶されたレベルは、操作をするたびに更新されます。



### 1 項目を選び、

を押して項目を選ぶ。



### 2 調整する

で選択する。

● バランス/フェダーは、 で調整する。

調整を続けるときは…

再度 を押して、項目を選んでください。

#### お知らせ

- 各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと… 通常モードに戻ります。
- 途中でやめる(通常モードに戻す)には…  
 を押す

**左右前後のスピーカーの音量バランスを調整する**  
 (バランス/フェダー)  
 初期設定：CNT (センター)  
 調整範囲：各15ステップ

**乗車位置に合わせて音像を調整する**  
 (シートポジション)  
 初期設定：OFF

**低音の厚みを調整する**  
 (スーパーベースコントロール・サブウーファー)  
 高音域をカットすることで、リアスピーカーをサブウーファーとして活用できます。  
 初期設定：OFF  
 外部アンプ(別売)に内蔵されているカットオフ周波数調整機能を使用する場合は…  
 本機の設定を「FLAT」にしてください。

**低音域を増強する**  
 (スーパーダイナミックバスブースト)  
 内蔵アンプに接続した4スピーカーから出力される低音を増強して、重低音が楽しめます。  
 初期設定：OFF

**BAL//FAD**  
 を選び

**B (BALANCE) バランス調整**      **F (FADER) フェダー調整**

R (RIGHT) : 右側を強調      F (FRONT) : 前方を強調

L (LEFT) : 左側を強調      R (REAR) : 後方を強調

例) **B:R 24 F:R 1**  
 調整している方へ向きが変わる

**POSITION SEL**  
 を選び

OFF : 全席

RIGHT : 前席・右      FRONT : 前席

LEFT : 前席・左      REAR : 後席

例) **POSI FRONT**  
 ● OFF以外に設定すると、「POS」インジケータが点灯します。

**SUPER BASS**  
 を選び

● 通常の出力のまま [ステレオ]  
 OFF

● サブウーファー用(低音域のみ)の出力 [モノラル]  
 ● リアスピーカーの出力に対する設定 (BAL/FAD-POSI-SDBB-SPACE) が、無効になります。  
 ● カットオフ周波数を選んでください。プリアウト(リア)の出力にも運動します。

FLAT      100Hz      150Hz      200Hz  
 (カットしない)

例) **SBC-SW 100Hz**

**SDBB SELECT**  
 を選び

OFF : 低音域を増強しない通常の出力

TYPE 1 : 可変・弱 [AUTO]      TYPE 3 : 固定・弱

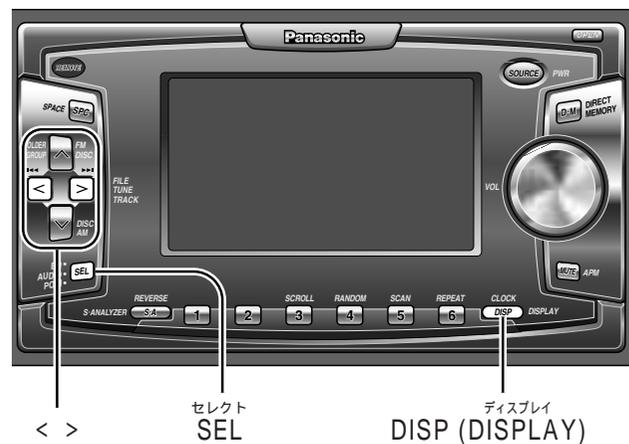
TYPE 2 : 可変・強 [AUTO]      TYPE 4 : 固定・強

例) **SDBB TYPE 4**  
 ● OFF以外に設定すると、「SDBB」インジケータが点灯します。

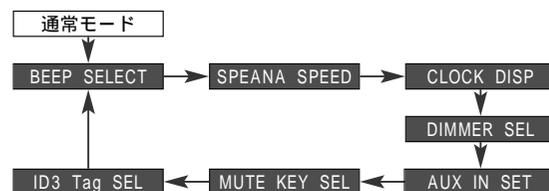
音量レベルに合わせて自動的に増強し、バランスよい低音になる。

設定されたブースト量で増強し、強調された低音になる。

使いかた



- 1 項目を選び、  
① **SEL** を2秒以上押し、  
② 再度 **SEL** を押して項目を選ぶ。



- 2 設定する  
◀ ▶ で選択する。

### お知らせ

各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には...

**CLOCK**  
**DISP** DISPLAY を押す

設定を続けるときは...

再度 **SEL** を押して、項目を選んでください。

その他の設定

操作音のON/OFFを選ぶ  
(ビープ音設定)

初期設定: ON

**BEEP SELECT**

を選び

**ON** : ボタンを押したときに、音を出す  
**OFF** : ボタンを押したときに、音を出さない

例)

**BEEP ON**

ビープ音はフロントスピーカー、およびリアスピーカーから出ます。プリアウトからは出ません。

スぺアナの動きの速さを選ぶ  
(スぺアナスピード設定)

初期設定: FAST

**SPEANA SPEED**

を選び

**FAST** : 動きが速くなる  
**SLOW** : 動きが遅くなる

例)

**SPEANA FAST**

時計表示のパターンを選ぶ  
(クロックパターン設定)

初期設定: NORMAL

**CLOCK DISP**

を選び

**NORMAL** : 時計をスクロールしないで表示する  
**SCROLL** : 時計をスクロールして表示する  
**SPEANA** : ドットスぺアナ (7バンドのスぺアナのような表示) と時計をスクロールしないで表示する

例)

**NORMAL**

表示の明るさを選ぶ  
(ディマー設定)

車のスモールランプと連動します。  
初期設定: 点灯時... MID、消灯時... HIGH

**DIMMER SEL**

を選び

**HIGH** : 明るくなる  
**MID** : 中間の明るさになる  
**LOW** : 暗くなる

リモコンは、通常モードで  
を2秒以上押しと、  
切り替わります。

DIMMER

例)

**DIMMER HIGH**

外部音声入力のON/OFFを選ぶ  
(AUX設定)

初期設定: ON

**AUX IN SET**

を選び

**ON** : 使用する  
**OFF** : 使用しない (AUXモードをスキップする)

例)

**AUX IN ON**

MUTEボタンを押したときの  
音量の上がりかたを選ぶ  
(ミュート/アッテネータ設定)

初期設定: MUTE KEY

**MUTE KEY SEL**

を選び

**MUTE KEY** : 0 になる (消音)  
**ATT KEY** : 10ステップ下がる (約1/10)

例)

**MUTE KEY**

ID3 TagのON/OFFを選ぶ  
(ID3 Tag設定)

初期設定: OFF

**ID3 Tag SEL**

を選び

**ON** : MP3ファイルのID3 Tagを表示する  
**OFF** : MP3ファイルのID3 Tagを表示しない  
ID3 Tagの設定がONのときは、フォルダ名・ファイル名を表示できません。

例)

**ID3 Tag OFF**

使  
い  
か  
た

# ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた

## CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、  
ご使用ください。

### 持ちかた

ディスクのセンターホール  
と外周部分を持ちます。



### CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で  
拭いたあと、乾いた布で  
拭いてください。



内側から外側へ拭く

### お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間  
がかかる場合があります。  
(読み取り中は「TOC READING」と表示されます。)

### 取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になる  
ことがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電  
防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

### CD-R/RWディスクのご使用について

再生可能なCD-R/RWディスクは、通常の音楽CD  
の形式(CD-DA)、またはMP3で記録したディスク  
に限ります。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録した  
CD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・  
キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温  
多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において  
劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディ  
スクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディ  
スクは再生できません。
- CD-DA、MP3以外のデータ(ビデオCDなど)は、  
再生できません。

## ⚠ 注意

### 特殊形状のCDやCDアクセサリは 使用しない



禁止

特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)  
のCDや、プロテクトフィルム・スタビライ  
ザーなどのCDアクセサリを使用する  
と、故障の原因になります。

### シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因に  
なることがあります。特に、市販のプリン  
ターで作成したラベルなどを貼り付けた  
CD-R/RWは、使用しないでください。

### コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

## MD (ミニディスク)

録音済みの音楽用MDをご使用ください。

### お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、若干  
時間がかかる場合があります。  
(読み取り中は「TOC READING」と表示されます。)

### MDが汚れたら

カートリッジの表面に  
汚れやゴミがついたときは、  
乾いた布で拭いてください。



シャッターに手・指を触れないでください。  
再生後、高温になることがあります。

### 取り扱いのお願い

MDそのものの破損、および機器の故障の原因になる  
ことがありますので、次のことをお守りください。

- シャッターを開けない  
無理に開けると破損することがあります。
- 中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
- 本機の中で引っかかるなど、故障の原因になります。
- CDの挿入口に、MDを入れない
- MDの方向と表裏を確認して挿入する
- 無理に入れると、故障の原因になります。

## ディスク (CD, MD) の保管について

### 長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。  
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避け  
るため、必ずケースに入れて保管してください。

### 次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、  
ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

## 著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

## 本機のお手入れについて

### 本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。  
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。  
化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

# 故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
<b>電源・共通</b>		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) 各コードの接続を確かめてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 44~46 -
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。 各コードの接続を確かめてください。	12 13 41 44~46
音量の調整ができない	チェンジャーや外部機器の音声がプリアウト(フロントまたはリア)に接続されている。 各コードの接続を確かめてください。	44~46
音声のみで、表示が出ない	スเปアナ表示を消灯する設定になっている。 他の表示に切り替えてください。	28
雑音が出る	携帯電話などを本機から離してください。	8
<b>ラジオ</b>		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているかを確かめてください。 オートアンテナコントロールコードの接続を確かめてください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 44 14
<b>CD / MD</b>		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。 音楽用の(録音されている)ディスクを使用してください。 CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。	16, 22 36~37 16
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を30°以内に調整し、振動しないようにしっかり取り付けてください。	36~37 42
CDテキストが正しく表示されない	CDの汚れをクリーニングしてください。	36
CDを入れても音が出ない(再生経過時間は表示されている)	ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) 第2トラック以降の音楽データを再生してください。	-
MD再生時にグループ選択ができない、正しくグループ化されない	グループ登録されていない。 グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないと、思ったとおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えない場合があります。 グループ機能を使って録音してください。グループ管理情報を入力してグループ登録した場合には、もう一度フォーマットを確かめてください。	22

症状	原因・処置	ページ
<b>MP3</b>		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく表示されない場合があります。 MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。 ディスクを正しい面で入れなおしてください。	21 21 21 18
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を30°以内に調整し、振動しないようにしっかり取り付けてください。 音質は、使用したエンコーダソフトや転送ビットレートの設定などにより異なります。エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	36 42 -
フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく表示されない場合があります。	21
再生経過時間の表示が実際と一致していない	再生中に早送り/早戻しをした、または車のACC電源をOFFにした。 他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート(VBR)で記録されたMP3ファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	18 21
再生するまで時間がかかる	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ファイルのチェックに時間がかかる場合があるので、MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	21
順番どおりに再生されない	再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 ファイル名の頭に「01」~「99」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	21
<b>音質・ユーザー設定</b>		
前後左右の何れかの音が出ない	BAL/FADで、前後左右のバランスを調整してください。 各コードの接続を確かめてください。	32 44~46
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続を確かめてください。	44~46
リアスピーカー、プリアウトから低音・モノラル音声しか出ない	サブウーファー用(低音域のみ)の出力に設定されている。 設定を「OFF」に切り替えてください。	32
<b>リモコン(別売)</b>		
ボタンを押しても動作しない	⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10

## こんな表示が出たときは

表示	原因・処置
CD / MD / MP3	
⊖ E 1 PLS EJ ⊖ E 1 PLS EJ	E1 / E2エラーのとき ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
⊖ E 2 PLS EJ ⊖ E 2 PLS EJ	E3エラーのとき 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。
⊖ E 3 PLS EJ ⊖ E 3 PLS EJ	動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理を依頼してください。
⊖ E 4 PLS EJ	再生しようとしたデータが、何らかの原因で読み込めない。 (本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式、拡張子などで記録されている、データが破損しているなど) 読み取れるファイルを選んで、再生してください。 データを確認し、ファイルを作りなおしてください。
CD NO DISC MD NO DISC	ディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。
CD / MDチェンジャー	
CD・CH - E 1 - MD・CH - E 1 -	E1 / E2エラーのとき 自動的に次のディスクへ切り替わります。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
CD・CH - E 2 - MD・CH - E 2 -	E3エラーのとき 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。
CD・CH - E 3 - MD・CH - E 3 -	動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理を依頼してください。
CH-C NO DISC	ディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。
NO MAGAZINE	マガジンが入っていない。 マガジンを入れてください。

## こんなときは故障ではありません

### 結露について

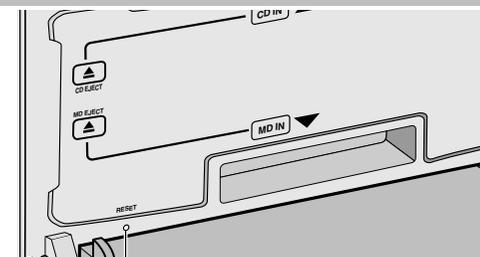
雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー/MDプレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

### どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押してください。

電源が切れて、出荷時の状態に戻ります。  
記憶されている内容は解除されますので、もう一度、設定・調整しなおしてください。

リセットしても正常に戻らない場合は  
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」  
(別紙) に修理を依頼してください。



リセットスイッチ

### 万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。  
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理を依頼してください。  
お客様による修理は、絶対におやめください。

# 配線・取り付けの前に

# 取り付けかた

## 警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

## 配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

### 配線関係

品名	個数
電源コード	1

### 取り付け関係

品名	個数
特殊座付きタッピンねじ (5 x 8 mm)	4
特殊皿型タッピンねじ (5 x 8 mm)	8

## 作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす
- ② 配線する (44 ~ 46ページ)  
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。  
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける (43ページ)
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

## 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



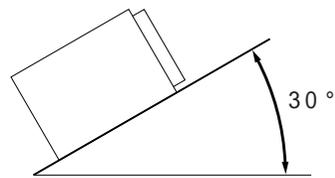
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

## 取り付け部の寸法・角度の確認

車種 (ダッシュボードの形状や寸法) によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

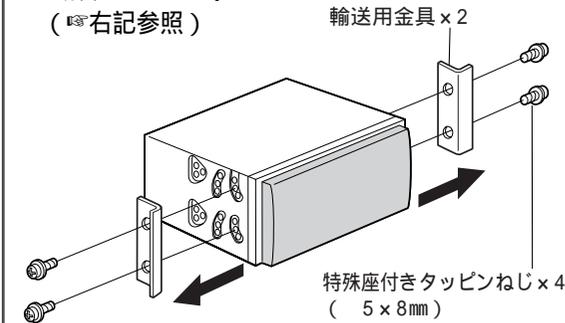
オーディオスペースが2DINサイズ (横180 mm、縦100 mm) でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



## 輸送用金具をはずしてください

取りはずした4本のねじは、取り付けに使用する場合があります。(右記参照)



## お願い

本機の実取り付け用の穴には、タップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじをご使用になり、まっすぐ押しながら締めてください。

付属ねじは、取付金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。



特殊座付きタッピンねじ (4本)

残りの4本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。

特殊皿型タッピンねじ (8本)

使用する取付金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。

### トヨタ車 (DINサイズ採用車)

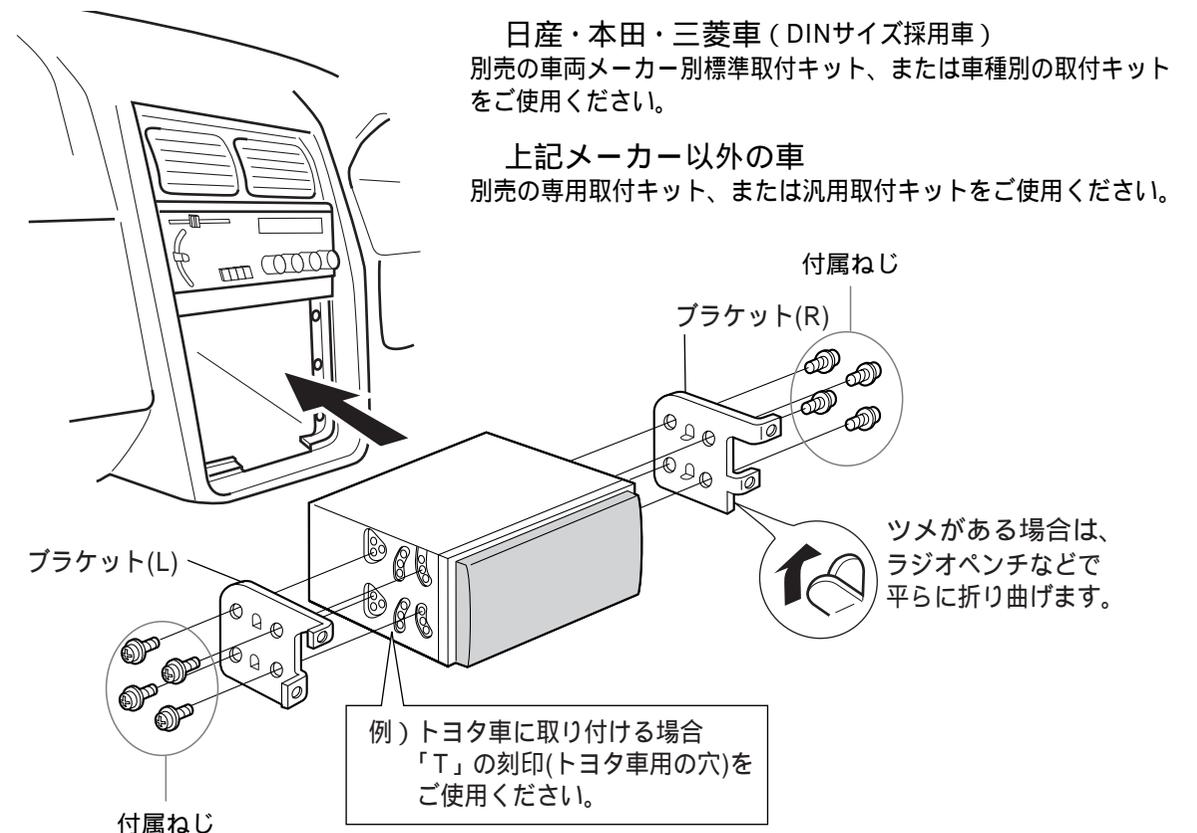
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

### 日産・本田・三菱車 (DINサイズ採用車)

別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取付キットをご使用ください。

### 上記メーカー以外の車

別売の専用取付キット、または汎用取付キットをご使用ください。



必要なときに

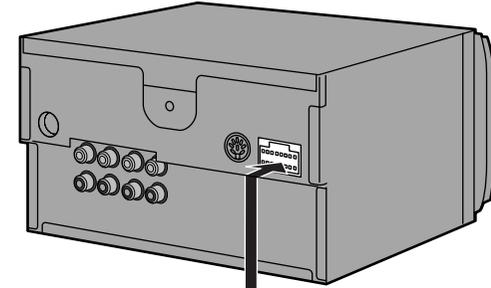
# 配線のしかた

## 基本配線（付属コードの接続）

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

### お知らせ

別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。



電源コード

車のアンテナコントロールコードへ

直接オートアンテナを駆動させる電源に接続しないでください。

ANT-CONT MAX 0.1A  
オートアンテナ  
コントロールコード（青）

車のスモールランプと連動する電源へ

ILLUMINATION  
イルミネーションコード（橙/白）

外部アンプのアンプコントロールコードへ

AMP-CONT MAX 0.1A  
外部アンプ  
コントロールコード（青/白）

車のACC電源へ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、販売店に相談してください。

ACC電源用抵抗  
ACC  
アクセサリコード（赤）

車のバッテリーへ

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

ヒューズ 10A  
BATTERY 10A 10A  
バッテリーコード（黄）

車体の金属部へ

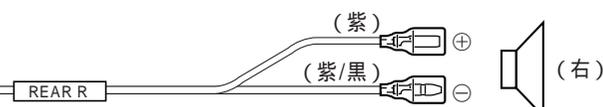
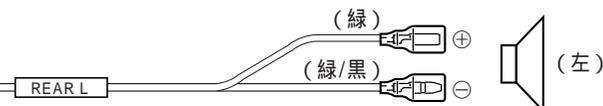
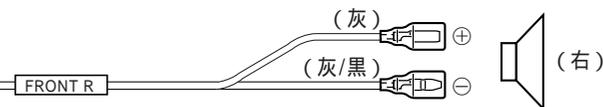
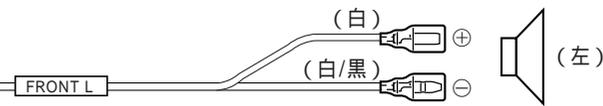
アースコード（黒）

フロントスピーカーコード（左）

フロントスピーカーコード（右）

リアスピーカーコード（左）

リアスピーカーコード（右）



（左）  
フロント  
スピーカーへ

（右）

（左）  
リア  
スピーカーへ

（右）

2スピーカーの場合は  
使用しないスピーカーコードが  
金属部に接触しないように、ビ  
ニールテープ等で絶縁してくだ  
さい。

### 後面端子部

ラジオアンテナ入力端子  
ラジオアンテナを接続する

チェンジャー入力端子  
(CD/MD・C IN)  
チェンジャーを接続する  
(※46ページ)

電源コネクター  
電源コードを接続する

外部音声入力端子 (AUX-IN)  
外部機器(テレビなど)を接続する

プリアウト端子 (F:フロント)  
外部アンプを接続する (※46ページ)

プリアウト端子 (R:リア)  
外部アンプを接続する (※46ページ)

#### 端子の色区分

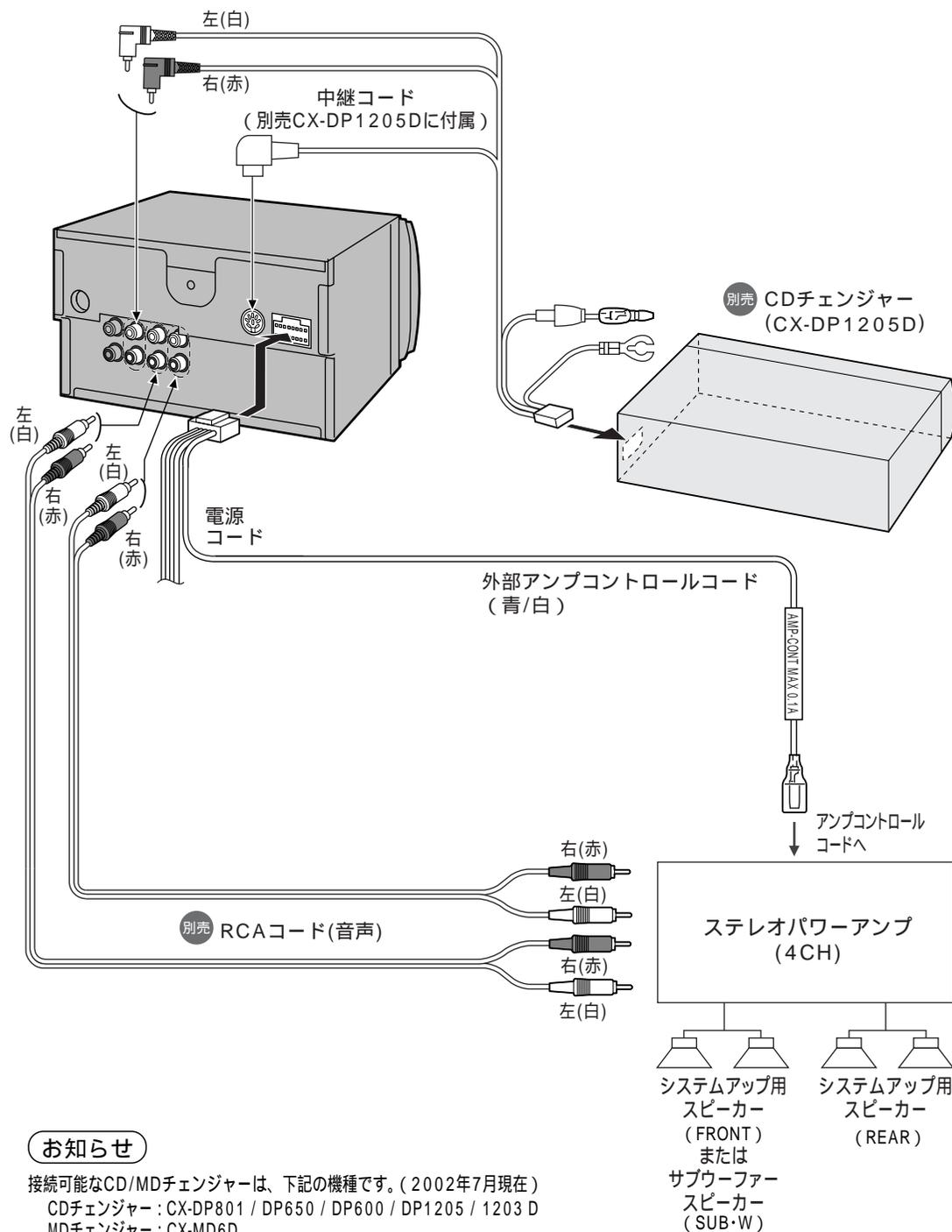
- ◎ 白.....音声(左)
- ◎ 赤.....音声(右)

必要なときに

## チェンジャー、外部アンプを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)



### お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年7月現在)  
 CDチェンジャー: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D  
 MDチェンジャー: CX-MD6D

### 共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 8.5 A (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4 )
最大出力	: 45 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 1.8 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法 / 質量	: 幅178 × 高さ100 × 奥行き160 (mm) / 2.4 kg

### DSP部

チャンネル数	: 入力2チャンネル, 出力4チャンネル
スペースモード	: 7種類
イコライザー中心周波数	: 80、160、320、640、1.6k、4k、10k (Hz)
イコライザー可変範囲	: -12 dB ~ +12 dB (13段階)

### FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N比 (MONO)	: 70 dB
ステレオ分離度	: 42 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 75 dB

### AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

### CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下
MP3デコーダー	: MPEG-1 Audio Layer 3 / MPEG-2 Audio Layer 3 LSF
ビットレート	: MPEG-1: 32 kbps ~ 320 kbps、VBR MPEG-2: 8 kbps ~ 160 kbps、VBR
サンプリング周波数	: MPEG-1: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG-2: 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz

### MDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。なおらないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...  
お買い上げの販売店 または  
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...  
「お客様相談センター」へ

### お客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-50-8729** コーパナソニック

FAX **045-939-1939**

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-VX4200D
販売店名	☎ ( )	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ( )	-	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地